

農業委員会だより

— 発行 大山町農業委員会 — 第12号



- P 2 . . . 農業委員・農地利用最適化推進委員 担当地区
- P 3 . . . 農作業標準労働賃金協定表
- P 4 ,5 . . . 大山町で活躍する担い手を紹介
- P 6 . . . 利用意向調査、有害鳥獣対策
- P 7 . . . 農業相談日、農地の賃借料情報
- P 8 . . . 農業者年金、編集後記

写真は「大山町で活躍する担い手を紹介」に登場するエムグリーン株式会社の皆さんです。平成27年2月に新規就農した持田功一さんが、今年1月に法人を立ち上げました。

お気軽にご相談ください！

- 農業を続けることが難しいので、田んぼを貸したい・売りたい
- 退職し、余力ができたので、田んぼを借りたい（新規就農したい）
- 自分の農地に農機具庫を建てたい
- 農地を子どもに贈与して、名義変更をしたい
- 認定農業者になりたい

☆その他、農業関連のご相談は、何でもどうぞ！

<農業委員・農地利用最適化推進委員 担当地区>

任期：令和2年7月20日～令和5年7月19日

	担当区域	氏名	備考
中山地区	羽田井、束積	尾古 礼隆	農業委員
	八重、樋口、石井垣	奥田 国雄	農業委員
	二本松、林之峰、大中尾	岸本 耕二	推進委員
	報国、萩原、退休寺	山下 一郎	農業委員
	栄田、潮音寺、内蔵	江原 宏昭	農業委員
	中山口、阿弥陀山、金屋、下田中1・2区、中林、浜ノ上団地、植松、北御崎、南御崎	中川 勝彦	推進委員
	下甲、赤坂、曲松、ナスパルタウン	渡邊 博文	推進委員
	下市、上市、殿河内、高橋、下市駅前	高口 正秀	推進委員
	岡、住吉、中尾、塩津、中池谷、さざんか台団地	高見 利洋	農業委員
	長野、松河原、庄田	徳永 裕二	推進委員
名和地区	富長東・中・西、塚根、大塚、福田、大雀	鳥橋 千廣	推進委員
	古御堂、文殊領、古原、茶畑、押平、中村	高虫 秀樹	農業委員
	東・上・新・西・南高田、押平1～3区、上福	前田 繁昌	農業委員
	坪田1～3区、東谷、門前、梶原、新坪田	米澤 誠一	農業委員
	旧奈和、下・上大山、菅団、渡道、栃原	荒松 将志	推進委員
	御来屋1～11区・東区・南区・港区、みどり区、のぞみ区	金本 常由	推進委員
	上・下前谷、上・下木料、倉谷、楽仙	入江 英之	推進委員
	峯小竹、小竹、上坪東・西	小谷 恵	農業委員
	陣構、神田、下坪	日野 浩一	農業委員
	西坪、駅前、ひかりが丘、八景台	佐伯 守	推進委員
大山地区	平田、上万、富岡、安原、保田、あずみの郷	谷上 真実	推進委員
	稲光、妻木、荘田、長田	藤本 康央	農業委員
	福尾、上野、大山口、大山口団地、大山口新団地、新栄、国信、末吉	野口 稔	推進委員
	所子、平木、栄、清原、唐王、末長、ニューヴィータ	青木 美伸	推進委員
	神原、上中高、中高1～3区・西区、野田	岡田 龍男	農業委員
	大山、種原、飯戸、明間、美野留、あけまの森	川上 英章	推進委員
	今在家、蔵岡、前、畑、別所、原、今在家住宅	小原 進	推進委員
	佐摩、宮内、平、坊領	矢田 考志	農業委員
	香取全域（香取上・下、香取、香取弥生）	石原 文義	農業委員
	下模原、大谷、赤松、中模原、一の谷	遠藤 幸子	農業委員

令和3年度 農作業標準労働賃金協定表

令和3年4月～令和4年3月

作 業 名		協定額(税込)	摘 要
田 植 え	機械植え(10a当たり)	6,600 円	・側条施肥付500円加算 ・その他薬剤散布等は適宜加算
	一般労務(1時間当たり)	850 円	・時間帯により適宜加算 ・葉たばこ、ネギ調理含む
耕 耘 機 ・ ト ラ ク タ ー	荒 起	6,600 円	・10a当たりの料金 ・農地の状況により適宜加算
	こ な し	3,900 円	
	代 か き	5,300 円	
	こなし・代かき同時	7,600 円	
	フ レ ー ル モ ア	6,100 円	
	堆肥散布(1t当たり)	1,500 円	・堆肥料金は別途
	あぜ草刈(1時間当たり)	1,800 円	・刈払機(機械代、燃料代含む)
	あぜ塗り(1m当たり)	70 円	・農地の状況により適宜加算
	薬剤散布(10a当たり)	1,000 円	・ナイアガラ散布(機械代、燃料代含む)
	追 肥(10a当たり)	1,500 円	・機械代、燃料代含む
稲 刈	バインダー(10a当たり)	8,100 円	・すみ刈りは委託者で行う
	コンバイン(10a当たり)	17,300 円	・カッター使用の場合は500円加算 ・結束機使用の場合は2,000円加算 ・すみ刈りは委託者で行う ・倒伏の場合は下記基準を協議のうえ加算 2割以上～5割未満の倒伏・・・1割増 5割以上の倒伏・・・・・・・・・・3割増 ・湿田の場合は協議のうえ加算
稲 脱 穀	ハーベスター(10a当たり)	7,600 円	

賄
い
な
し

※梨については、西部果樹協会(☎0859-37-5814)まで
お問い合わせください。

※この協定表は全町の標準額です。地区・農地の状況によって
異なりますので、上記を参考に話し合いにより決定してください。

◆問い合わせ先 農業委員会事務局 ☎0858-58-6115



大山町で活躍する 担い手を紹介します!

今回は、町内で活躍する担い手の皆さんを紹介するため、農業委員会だより編集委員会委員がインタビューに出かけました。大規模ブロッコリー農家の原遼太さん一家、新規就農で羽田井に梨園を営む西迺潤一さん、新規就農から今年1月に法人を立ち上げられたエムグリーン株式会社をご紹介します。

今回、編集委員として春作業で忙しくしていらっしゃる皆さんに取材させていただき、皆さんの輝く笑顔と農業にかける熱い思いを聞くことが出来ました。

原 遼太さん (下大山)

○経営規模

芝 50a、初夏ブロッコリー 3.5ha、秋冬ブロッコリー 8.0ha、スイカ 50a

○就農のきっかけ

“何か仕事としてやっていけることを地元でしたい。”と祖父に相談し、農業の手伝いから始めて、2年前親元就農事業を利用して就農しました。

○やりがい

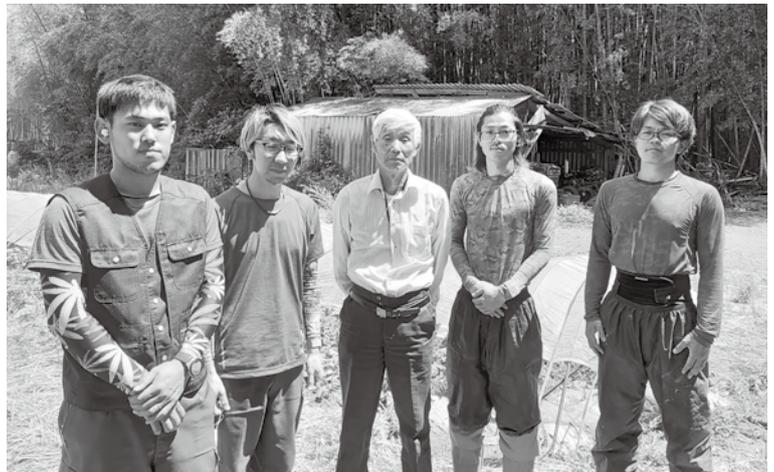
農業に関する知識が増えていることや作物の品質が上がっていることを年々実感することにやりがいを感じています。

○現在、困っていること

圃場が足りないこと。規模拡大において作業効率を良くするため、圃場の集約化に取り組みたいです。

○将来の夢・目標

祖父から経営移譲（今年予定）を受け、規模拡大（25ha）で法人化を目指したいです。スイカ、ブロッコリーをメインにいろいろな品目を育成精査し、しっかりとした収入を確保しつつ、無理のない農業経営をしていきたいです。



左から2番目が原遼太さん

西廻 潤一さん

(下市・新規就農で
羽田井の梨農家)



○経営規模

梨 52a (新甘泉 25a、王秋 17a、なつひめ 3a、あたご 3a、秋栄 2a、秋甘泉 2a)

○就農のきっかけ

農業をやりながらサーフィンをしたいと思い大山町に移住し、大山選果場のアルバイトをきっかけに、梨の品種の多さや新甘泉の甘さに驚き、梨を作りたいと思い就農しました。(株)勇辰農園で研修させてもらい今に至ります。

○やりがい

年間を通して梨栽培、防除、圃場管理など大変ですが、やりがいは収穫、出荷で良い梨が消費者に届くことです。

○将来の夢・目標

梨の知識と技術を向上させ、面積拡大を行い、梨農家として夫婦で頑張っていきたいです。また、販路拡大、梨等の加工・販売を行う6次産業など、新たな取り組みにも挑戦していきたいと考えています。

エムグリーン 株式会社

代表取締役 持田 功一さん
(美野留・今年1月に農業法人設立)

○経営規模

ブロッコリー 20ha、キャベツ 15ha、スイートコーン 4ha、にんにく 10a、芝 2ha

○就農のきっかけ

親に勧められ、農業に興味を持ち、30歳から農業を始めました。鳥取県農業農村担い手育成機構のアグリスタート研修で1年間研修を行い、平成27年2月に就農しました。そこから営農規模や雇用を増やし、今年1月に法人を立ち上げました。

○現在、困っていること

現在、若手の従業員4人で働いていますが、農繁期(収穫期)の人手は不足している状態です。人材確保が課題です。

○将来の夢・目標

農業は難しく毎々が勉強ですが、さらに規模を拡大し、従業員に“ここで働いて良かったな”と思ってもらえるような会社にしていきたいです。

利用意向調査を実施します

農地パトロールの結果、再生利用可能な遊休農地と判断された農地の所有者の方へ、8月頃に農業委員・農地利用最適化推進委員が訪問して、今後の利用計画をお伺いします。農地の貸付希望の有無や、中間管理事業活用のご案内等をさせていただきます。



有害鳥獣対策について

・現 状

毎年、農作物被害報告が多く寄せられ、特にイノシシについては、水稻を中心にサツマイモや、その他の野菜に被害を及ぼしています。また近年沿岸集落周辺での目撃情報が急増し捕獲依頼がありますが、集落周辺の捕獲は難しく、対応に苦慮しているのが現状です。



イノシシの捕獲頭数は毎年度増加しており、H25年度に267頭でしたが、R2年度は701頭となり、7年の間に2.6倍となっています。

ニホンジカについても捕獲頭数が増加しており、H25年度に4頭でしたが、R2年度は53頭となり、7年の間に13倍と大幅に増加しています。

カラス、ヌートリアといったその他獣種についても、猟友会に捕獲許可を交付し、捕獲活動に従事していただいています。

・助成事業

電気柵、ワイヤーメッシュ柵、防鳥ネットといった侵入防止対策に対し、購入費用の一部を助成しています。事業費上限10万円(消費税を除く。)の1/4を助成しています。

国の支援制度もあります。侵入防止柵設置に対し、直営施工には定額補助、請負施工には事業総額の1/2以内等の支援です。支援制度利用には受益戸数が3戸以上必要等の要件があります。

侵入防止対策をお考えの方は支援内容や制度要件についてご相談ください。

詳しくは、役場中山支所・農林水産課（TEL 0858-58-6116）までお問い合わせください。

農業相談日のご案内

農地の貸し借りや転用、農地に関する困りごとなど、お気軽にご相談ください。
相談は無料で秘密は堅く守られます。

時間 午後1時30分～3時00分

中山地区

役場中山支所 農業委員相談室

相談日	相談委員
9月6日(月)	山下・中川
10月5日(火)	江原・徳永
12月6日(月)	高見・岸本
1月5日(水)	奥田・渡邊
3月7日(月)	尾古・高口

名和地区

名和公民館 第2会議室

相談日	相談委員
8月16日(月)	高虫・米澤
10月15日(金)	日野・金本
11月15日(月)	小谷・荒松
1月17日(月)	前田・佐伯
2月15日(火)	米澤・鳥橋

大山地区

役場大山支所 小会議室

相談日	相談委員
8月25日(水)	藤本・川上
9月27日(月)	石原・青木
11月25日(木)	遠藤・谷上
12月27日(月)	岡田・小原
2月25日(金)	矢田・野口
3月25日(金)	藤本・川上

農地の賃借料情報

令和2年1月から12月までに締結(公告)された賃貸借における賃借料水準は、以下のとおりとなっています。

【田の部】

地区	平均額	最高額	最低額	データ数	備考(使用貸借)
大山地区	5,200円	8,000円	2,000円	173筆	240筆
名和地区	7,600円	12,600円	3,800円	110筆	131筆
中山地区	7,700円	13,000円	2,500円	190筆	226筆
大山町全体	6,800円			473筆	597筆

【畑の部】

地区	平均額	最高額	最低額	データ数	備考(使用貸借)
大山地区	3,400円	5,100円	1,600円	40筆	136筆
名和地区	7,300円	12,700円	2,500円	294筆	316筆
中山地区	5,700円	10,600円	2,200円	174筆	205筆
大山町全体	6,400円			508筆	657筆

※賃借料(平均額・最高額・最低額)の金額は、10a当たりの年額です。

※備考欄の掲載内容：令和2年1月から12月までに締結(公告)された使用貸借(無償)です。

農業者年金

保険料控除など税制面での
優遇があり、節税になります。

あなたの老後生活への備えは十分ですか？年金は家族一人ひとりについて準備することが大切です。老後の備えは国民年金プラス『農業者年金』が基本です！

農業者の方なら広く加入できます



農業経営者
自営業との兼業農家



配偶者



後継者とその配偶者



農業従事者
農家のパートさん



農地の権利名義を
持たない畜産農業者



農地の権利名義を持たない
施設園芸等農業者など

- ①年間60日以上農業に従事する
 - ②国民年金の第1号被保険者
(保険料納付免除者を除く)で、
 - ③20歳以上60歳未満の方
- ・農地を持っていない農業者、配偶者や後継者などの家族従事者も加入できます。
 - ・脱退も自由です。脱退一時金は支給されませんが、加入期間にかかわらず、それまでに支払った保険料は、将来受給する年金の原資となります。

注)農業者年金に加入される方は、国民年金の付加年金(付加保険料月額400円)への加入も必要となります。

編集後記

近年、地域の農地を耕す人が少なくなり、農地の有効利用が年々困難になっています。一度荒れた農地を元に戻すことが、いかに大変なのかは皆さんよくご存じだと思います。先祖から引き継いだ農地を耕作放棄地にしないよう集落、地域、町と連携し少しずつでも農地利用の適正化を進めることが大切だと思い、日々活動を進めてまいります。今回取材にご協力いただいた皆様、お忙しい中ありがとうございました。
(石原文義)

【編集委員長】石原文義

【編集副委員長】奥田国雄

【編集委員】高虫秀樹、渡邊博文、荒松将志、
青木美伸、米澤誠一、江原宏昭

【大山町農業委員会事務局】

住所：〒689-3111

西伯郡大山町赤坂 66 (中山支所)

電話：0858-58-6115

FAX：0858-58-4024

熱中症に注意!!

- ☀ 日中の気温の高い時間帯を外して作業を行いましょう
- ☀ 作業前・作業中の水分補給、こまめな休憩をとりましょう
- ☀ 単独作業を避けましょう

農地を活かし 担い手を応援する



毎月4回金曜日発行 (月額700円)

「全国農業新聞」は全国農業会議所が発行する農業委員会系統組織の情報紙です。

◎ 購読申込：農業委員会事務局にお問い合わせください。